

生洲^{いけす}

生洲といふは高瀬川筋三條の北にあり。川辺に樓をしつらひ、もろもろの魚鳥を料理て客をもてなし酒肴を商ふ。王祥が孝に感ぜし鯉も張翰が千里を思ふ鱸も、忽ち川辺の生洲に湛て都鄙の賓客をまつ。しかしながら婦人の来集、琴三弦の音曲を禁ず。むかしより此所の掟となんいひ伝へ侍る。